平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名　理研ビタミン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4526　URL　http://www.rikenvitamin.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 堺　美保
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長　(氏名) 山下　隆　TEL 03-5275-5111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,145	9.1	1,304	45.8	1,492	50.0	1,014	77.4
25年3月期第1四半期	18,466	3.3	894	△10.9	994	△12.4	571	88.6

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　1,930百万円　(280.2%)　25年3月期第1四半期　507百万円　(36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	45.86	―
25年3月期第1四半期	25.22	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	96,295	62,261	64.1
25年3月期	94,257	60,728	63.9

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　61,713百万円　25年3月期　60,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	18.00	―	18.00	36.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		20.00	―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	11.0	2,200	39.7	2,300	46.4	1,200	41.7	54.27
通期	85,500	10.2	4,700	30.5	4,800	28.3	2,800	16.3	126.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	23,652,550 株	25年3月期	23,652,550 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,539,894 株	25年3月期	1,539,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	22,112,706 株	25年3月期1Q	22,660,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感による株式市場の活況および為替動向もあって、景況感に改善の兆しが見られるものの、個人消費については依然慎重な購買姿勢が続くなど、本格的な回復までには至らない状況で推移いたしました。一方、海外経済は、米国で消費および雇用情勢に改善傾向が窺えるものの、未だ欧州経済は下振れリスクを抱え、新興諸国における景気減速感もあって、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、
◇中核事業での国内外マーケットシェア拡大と収益力向上
◇海外事業を成長エンジンと見据えた運営（開発・生産・販売）の強化
を基本に据えて、昨年４月より取り組みを開始した「中期３ヵ年経営計画」の２年度目における諸施策展開に注力いたしました。

この結果、当第１四半期の業績につきましては、国内化成品その他事業での減少はあったものの、「市販ドレッシング」が引き続き好調に推移したことに加え、震災影響からの脱却を図るべく取り組み強化を図った「海藻商品」の実績化および海外事業の回復・伸長もあって、売上高は201億45百万円（前年同期比16億79百万円、9.1%増）となりました。
利益面でも、売上増に伴う収益増加に加え、コスト管理の徹底も相俟って、営業利益は13億4百万円（前年同期比4億10百万円、45.8%増）、経常利益は14億92百万円（前年同期比4億97百万円、50.0%増）、四半期純利益は10億14百万円（前年同期比4億42百万円、77.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

〔国内食品事業〕
『家庭用食品』では、市販ドレッシングが、当カテゴリーの代表的商品であるノンオイル「青じそ」の確実な実績化に加え、「くせになるうま塩」をはじめとする「くせになる」シリーズ品の高評価、更には、封切り映画とのタイアップ企画等の販売プロモーションの奏功もあり、売上は前年同期を大きく上回りました。
震災からの完全回復を目指す「海藻商品」につきましては、こだわりの逸品からお手頃価格までの幅広い品揃えの「ふえるわかめちゃん」シリーズアイテムの新たな市場導入および岩手県大船渡市に改めて立ち上げた工場で生産される「冷凍海藻」の『業務用食品』分野での販売等の寄与もあり、売上は前年同期を上回りました。
『加工食品用原料等』でも、ユーザーニーズに的確に対応した結果、食品用改良剤・健康機能食品・食品向けビタミン等の売上が堅調に推移し、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から8億1百万円（5.9%）増加した143億96百万円となり、営業利益は11億21百万円（前年同期比2億82百万円増）となりました。

〔国内化成品その他事業〕
『化成品（改良剤）』では、建築資材（滑剤）および食品用ラップ（防曇剤）向けは堅調に推移したものの、農業用フィルム（防曇剤）および昨年エコカー補助金需要があった自動車部品向けがその反動もあり、低調に推移いたしました。
また、『その他』の事業でも、飼料用油脂が低調に推移し、売上が前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から26百万円（1.9%）減少した13億93百万円となりましたが、営業利益は1億35百万円（前年同期比16百万円増）を確保することができました。

〔海外事業〕
前年同期、欧州向け水産加工品が高いウエイトを占める青島福生食品有限公司（中国）の売上が、その厳しい市場環境の影響を受けて大きく落ち込みましたが、その後、回復基調に転じ、当第１四半期においても前年同期を大きく上回ることができました。
加えて、「改良剤」分野においても、アジア・欧米をはじめとする各エリアの既存市場での深耕はもとより、成長が見込める新市場の開拓・販売拡大に取り組んだ結果、確実な実績化を図ることができました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から9億57百万円（26.6%）増加した45億60百万円となり、営業利益は1億19百万円（前年同期比23百万円増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末の総資産は962億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億38百万円増加しました。主な増加はたな卸資産18億76百万円、有形固定資産9億84百万円、投資有価証券3億16百万円であり、主な減少は現金及び預金12億36百万円、受取手形及び売掛金3億24百万円であります。

負債は340億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加しました。主な増加は短期借入金14億2百万円、長期借入金4億22百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金5億99百万円、引当金5億47百万円、未払法人税等4億51百万円であります。

純資産は622億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億32百万円増加しました。利益剰余金が、四半期純利益の計上10億14百万円、配当金の支払3億98百万円により6億15百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億69百万円、為替換算調整勘定が7億45百万円それぞれ増加しています。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第２四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成25年４月25日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,869	11,633
受取手形及び売掛金	21,292	20,967
有価証券	1,009	1,031
商品及び製品	5,406	6,226
仕掛品	4,060	4,144
原材料及び貯蔵品	7,036	8,010
その他	2,178	2,505
貸倒引当金	△12	△1
流動資産合計	53,840	54,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,941	12,088
機械装置及び運搬具（純額）	7,877	7,855
その他（純額）	5,178	6,038
有形固定資産合計	24,997	25,981
無形固定資産	840	890
投資その他の資産		
投資有価証券	13,431	13,747
その他	1,164	1,173
貸倒引当金	△17	△13
投資その他の資産合計	14,578	14,907
固定資産合計	40,416	41,779
資産合計	94,257	96,295

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,355	9,756
短期借入金	10,305	11,708
未払法人税等	1,003	551
引当金	815	268
その他	5,592	5,728
流動負債合計	28,073	28,013
固定負債		
長期借入金	148	570
退職給付引当金	1,936	1,967
その他	3,370	3,482
固定負債合計	5,455	6,020
負債合計	33,528	34,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,537	2,537
資本剰余金	2,466	2,466
利益剰余金	53,906	54,522
自己株式	△3,745	△3,745
株主資本合計	55,165	55,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,807	4,976
繰延ヘッジ損益	18	△0
為替換算調整勘定	210	955
その他の包括利益累計額合計	5,036	5,931
少数株主持分	526	547
純資産合計	60,728	62,261
負債純資産合計	94,257	96,295

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	18,466	20,145
売上原価	12,765	14,053
売上総利益	5,700	6,092
販売費及び一般管理費	4,805	4,787
営業利益	894	1,304
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	144	166
その他	42	107
営業外収益合計	194	282
営業外費用		
支払利息	86	90
その他	7	3
営業外費用合計	94	94
経常利益	994	1,492
特別利益		
受取保険金	－	60
補助金収入	369	6
その他	0	1
特別利益合計	369	68
特別損失		
固定資産除却損	8	4
固定資産圧縮損	317	－
減損損失	51	－
投資有価証券評価損	36	－
その他	0	－
特別損失合計	413	4
税金等調整前四半期純利益	950	1,556
法人税等	377	536
少数株主損益調整前四半期純利益	572	1,019
少数株主利益	1	5
四半期純利益	571	1,014

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	572	1,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	169
繰延ヘッジ損益	△49	△20
為替換算調整勘定	24	762
その他の包括利益合計	△64	911
四半期包括利益	507	1,930
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	530	1,909
少数株主に係る四半期包括利益	△22	21

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内食品事業	国内化成品その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,592	1,419	3,454	18,466	－	18,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	－	148	151	(151)	－
計	13,595	1,419	3,602	18,618	(151)	18,466
セグメント利益	839	118	95	1,053	(159)	894

（注）１．セグメント利益の調整額には、棚卸資産の調整額△72百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△86百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内食品事業	国内化成品その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,383	1,393	4,369	20,145	－	20,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	－	191	204	(204)	－
計	14,396	1,393	4,560	20,350	(204)	20,145
セグメント利益	1,121	135	119	1,376	(71)	1,304

（注）１．セグメント利益の調整額には、棚卸資産の調整額17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△88百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。